

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

2017 年頭挨拶（2・3面）

竹内 希六・新潟県社会福祉協議会会長

小田 敏三・新潟県共同募金会会長

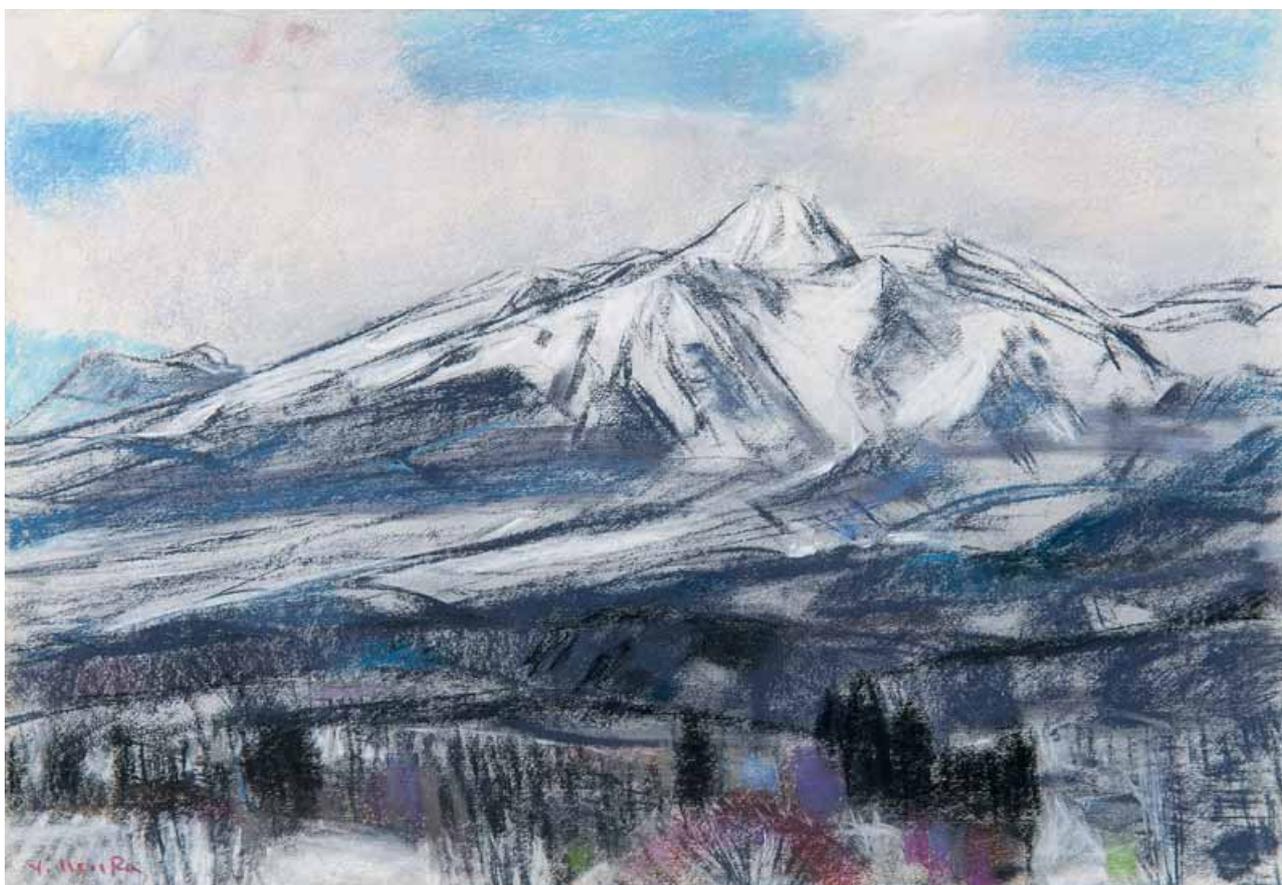
米山 隆一・新潟県知事

1月号

2017

第773号

- 竹内・県社協会長が新潟みずほ福祉会（新潟市西区）訪問
- 連載「民児協100年」始まる



村山 陽「妙高雪景」（一水会委員・上越市在住）

年頭挨拶



社会福祉法人
新潟県社会福祉協議会
会長
竹内 希 六

新年明けましておめでとうござい
ます。

県民の皆様には、日ごろから社会福
祉の推進に、ひとかたならぬご理解と
ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢社会の進展は、私た
ちにそれぞれが暮らす地域でニーズ
に合った包括的な支援と支え合い機
能の一層の連携強化を求めています。
そのためには、子どもたちからお年寄
りまで、保育や介護、障がい者、生活
困窮者など一人ひとりが抱える特性
に対応したきめ細やかな施策の充実
が何より大切になってきています。

わが国では、厳しい財政状況の中
で社会福祉法の改正をはじめ、さま
ざまな改革が行われ、持続可能な社
会保障制度への移行が進められてい
ます。無駄な経費の削減や効率化は
重要ですが、その半面、税負担の増

加や年金制度見直しが福祉サービ
スの低下を招いては幅広い国民の理解
を得られません。

そうした中で、介護施設や保育所
など、福祉の現場で働く人たちの待
遇改善など福祉人材確保に向けた対
応が喫緊の課題となっております。
新潟県社会福祉協議会は、福祉に従
事する方々が誇りを持って働ける環
境づくりに努めるとともに、福祉の
仕事を目指す人たちの増加に力を入
れてまいります。

県内の市町村社会福祉協議会、社
会福祉法人・施設、民生委員・児童委
員、福祉関係団体や大学、企業などの
ネットワークを大切に、「共に生き共
に創る福祉社会」の充実を目指してま
いります。一層のご理解、ご協力をお
願いたしますとともに、皆様のご
健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社会福祉法人
新潟県共同募金会
会長
小田 敏 三

謹んで年頭のご挨拶を申し上げま
す。

昭和22年に国民たすけあい運動と
して始まった共同募金運動は昨年70
回目の節目の年を迎えました。

これもひとえに皆様方からの温か
いご支援・ご協力の賜物であり、改
めて心より感謝申し上げます。

平成28年度は目標額を4億7300
万円と定めその達成に向けて懸命に
取り組んでおり、1月からはテーマ
型募金である「あったか雪募金」も
始まりました。

お寄せいただいた寄付金は、県内
の民間福祉活動や社会福祉施設の整
備、NPOやボランティア活動、更
には災害ボランティアセンターへの
支援など様々な活動を支える財源と
して役立たせていただきます。

新潟県共同募金会は、これからも

県内の地域福祉活動を支援するた
め、更なる努力を続けてまいりま
す。

今後ともなお一層のご支援とご協
力を賜りますようお願い申し上げま
すとともに、皆様のご健勝とご多幸
をお祈りいたしまして、新年のご挨拶
といたします。





新潟県知事
米山隆一

平成29年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。皆様には、日ごろから、福祉行政の円滑な推進にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

私は、去る10月におこなわれました知事選挙におきまして、県民の皆様のお信託を得て、新潟県第9代民選知事に就任しました。私に課せられました使命と責任の重大さを痛感しているところであり、「命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」ことを基本理念とする県政を実現していく所存です。

県知事として、県政の様々な課題の一つ一つに対し、真摯に、丁寧な全力で取り組み、施策を着実に一つ一つ実行していくことにより、県民の皆様と、新潟県に対する、現在と、そして未来への責任を果たしてまいります。

さて、少子・高齢化の著しい進

行、地域住民のニーズの多様ななど、地域福祉を取り巻く環境は著しく変化しております。

県といたしましては、介護人材確保や、高齢者・障害者等が自立して暮らせる基盤の整備、子どもの貧困対策、子育て支援など、地域において支援を必要とする方々に、様々な福祉施策が届くよう取り組みを進め、県民一人ひとりが希望を抱き、未来を描くことのできる地域社会の実現に向けて、本年も全力を注いで参りたいと考えております。

社会福祉協議会をはじめ、福祉活動をされている皆様におかれましては、本県の地域福祉の推進に向けて更なるご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつとします。

謹賀新年

(一財)新潟県民生委員児童委員協議会

会長 長谷川 剛

(一財)新潟県老人クラブ連合会

会長 川崎 悌吉

(一社)新潟県母子寡婦福祉連合会

会長 中野 キン子

(一社)新潟県手をつなぐ育成会

理事長 片桐 宣嗣

(一社)新潟県老人福祉施設協議会

会長 市井 栄吉

新潟県ホームヘルパー協議会

会長 石黒 裕里子

新潟県保育連盟

理事長 平澤 正人

新潟県私立保育園連盟

会長 伊東 一男

新潟県保育士会

会長 星野 正子

新潟県社会福祉法人経営者協議会

会長 田宮 崇

(公社)新潟県社会福祉士会

会長 星井 勝博

(公社)新潟県介護福祉士会

会長 宮崎 則男

新潟県内社協職員連絡会

会長 大竹 敏一

新潟県社会就労センター連絡協議会

会長 寺口 能弘

(一社)新潟県介護支援専門員協会

会長 佐々木 勝則

新潟県災害福祉広域ネットワーク協議会

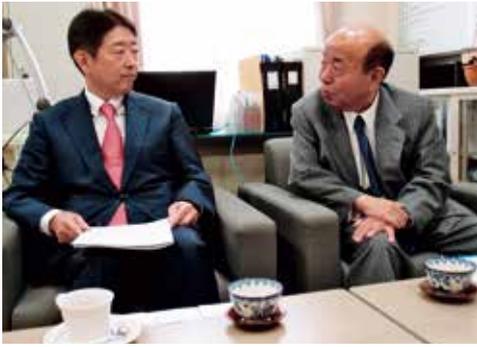
会長 竹内 希六

(新潟ユニゾン)プラザ入居福祉団体



竹内・県社協会長 新潟みずほ福祉会を訪問 一貫した地域と歩む姿勢たたえる

新潟県社会福祉協議会の竹内希六会長が11月16日、設立40周年を迎えた「新潟みずほ園」などを運営する、新潟市西区の社会福祉法人「新潟みずほ福祉会」を訪問、和田晋弥理事長と運営方針や取り組み、障がい者施設を取り巻く課題について意見交換しました。和田



障がい者福祉について語り合う和田理事長（左）と竹内会長（西区小見郷屋・第2みずほ園）

理事長は「今後も、地域とともに歩む基本理念の実践に重きを置きたい」と強調、竹内会長も、地域と一体となった運営に一層の期待を寄せました。

重度身体障がい者が暮らす「新潟みずほ園」は、1976（昭和51）年4月の開園です。新潟県が打ち出した「ミニコロー構想」により建設された第1号施設で、83（昭和58）年4月に開園した隣接する知的障がい者のための「みのり園」も、この構想により造られた最後の施設となっています。

開設後、利用者を第一に、家族の思いを受け止めて一緒に歴史を刻んでいます。地域の祭りやイベントに参加するなど、積極的に地域に溶け込む一方で、行政や

新潟みずほ園について説明を受ける。居室は「職員室」を中心に配置されている



地域住民、ボランティアらの理解と協力を得て、障がいがある人も安心して地域で暮らせる社会づくりを推し進めてきました。

これらを象徴するように、「新潟みずほ園」内には、「近隣の方々有難うボラン

新潟県ミニコロー構想 1974（昭和49）年に君健男知事が発案した重点施策。心身に重度の障がいがある人たちの小規模入所施設（50人）を、身体障がい3カ所、知的障がい10カ所の合わせて県内13カ所に整備する全国に先駆けた法人が当たる。

取り組み。施設は、家庭の延長線上とし、入所者が家族と地域の愛情と協力の中で生きがいのある生活を目指す。設置関連費用は、国庫補助や県費などでまかない、運営は民間の創造性を生かし社会福祉法人が当たる。

第2みずほ園の明るい浴室。施設内の廊下は電動車いすがすれ違うことができるほどの広さ



同福祉会は、これらの施設と、隣接地にある「第2みずほ園」を含めた3障害者支援施設を基軸に、生活支援センターや多機能型事業所、グループホーム、移動支援事業など多くの福祉関連事業を展開しています。

和田理事長は、「人材のレベルを上げ、福祉サービスの質を高めたい。そのためにも、職員の待遇や社会的地位の向上を、私たちの施設からどんどん変えていきたい。女性も働きやすく、風通しの良い、そしてモチベーションを高める環境整備を図ることが責務だと考えます」と介護・福祉への思い入れを語りました。

今年7月には、相模原市

の障がい者施設で多くの命を奪った殺傷事件が起きています。施設の安全性などが大きな社会問題となりましたが、同福祉会の坂木俊雄本部長は「防犯体制の見直しを行いながらも、今まで通りの『開かれた施設』を維持していきたい」と話します。

同福祉会では、ホームページはもちろん、フェイスブックなどを活用し、法人情勢だけでなく、折々

の出来事などを発信・公開。第三者の評価も得ながら、



地域に根差した取り組みを続けています。

竹内会長は「透明性の確保は、地域との一体化に大切。より多くの人の考えを取り入れることが第一」と今後の運営について激励しました。

ケアハウスみずき野吉番館外観。県内に2カ所という身体障がい者用グループホーム・柊の木がある。居室から直接外に脱出できるスロープも設けられている（西区みずき野）



多機能型事業所「工房はたや」。利用者がタオルの包装作業に精を出していた（西蒲区旗屋）



「工房はたや」で製造されている豆腐「豆天使」。おからを出さない製法で濃厚な味わい。「とっぶりん」（豆腐プリン）も人気

ず〜む 2017 Vol.16

「せんせい」と書いて、
「プロフェッショナル」
と説く

たまたま手に取り開いてみたのは、保育園の「そつえんぶんしゅう」。ページの中には顔写真と一緒に、一人ひとりが自由に使えるスペースがあつて、自分の好きなキャラクターを描いたり、ちよつと大人な子は、先生への感謝を立派に文章でしたためていたりと、バラエティー豊か。思わず口元を

緩めながらページをめくっていると、その中に1ページだけ、先生から保護者に向けたメッセージがありました。

の保育と自分の保育（現実）の狭間で常に葛藤を抱えていたこと。試行錯誤を繰り返しながら、私たちが私たちの親と向き合ってくれていたこと。「私たちの大好きな先生は、私たちの知らないところで、たくさん、たくさん頑張ってたんだね」。そう思うと、急に視界がぼやけて、胸の奥がぎゅつ

と締めつけられました。一見すると、ただただ楽しく遊んでいる場面でも、保育者は子ども一人ひとりの性格や育ちを考えたが、言葉かけを工夫し、ねらいを持って関わります。子どものけがや体調変化を常に気遣い、子どもたちの安心・安全を守ります。保護者とのコミュニ

ケーションを大切にしながら、あかるとしてやさしいせんせい」は、卒園してからうん十年の月日が流れた今、誰にでも容易にできることではない、子どもたちの心に寄り添う「プロの仕事人」であることに、改めて気付かされるのです。

（実央）

平成28年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために



ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
- オプション3 ● 借用不動産賠償事故補償

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償

② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年職種別A級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年職種別A級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	1,500円
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	600円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
施設役員・職員の1名1口あたり	3円(1日あたり) 780円(年間・週5勤務の場合)

① 施設職員の労災上乗せ補償

● オプション新設: 使用者賠償責任補償

③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン4 社会福祉法人役員補償 (賠償責任保険)

新設 社会福祉法人役員賠償責任補償

保険期間1年

▶補償金額	A型	B型	C型
賠償責任	5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL: 03(3593)6824
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈SJNK15-17044 2016.02.18作成〉

生保協新潟県協会 ボランティア団体と福祉施設助成

生命保険協会新潟県協会（長谷川秀彦会長）は11月21日、社会福祉などの分野で活動している県内のボランティアグループ16団体に、物品購入費として121万2000円を寄贈しました。併せて、社会福祉法人阿賀北福祉会に福祉巡回車1台を贈りました。

社会貢献・CSR活動に取り組む同協会は、加盟する保険会社で働く社員・営業職員などからの募金を財源に、毎年実施しています。

午前中に行われた贈呈式には、長谷川会長、竹内希六・新潟県社会福祉協議会会長のほか、ボランティアグループ12団体が出席しました。寄贈目録



午後からは福祉巡回車の寄贈式が行われ、長谷川会長から阿賀北福祉会・板垣裕事務局長に「ゴールデンキー」が手渡されました。

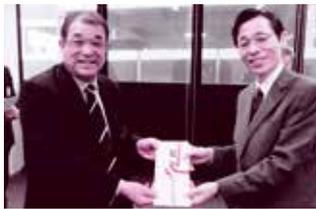


を受け取った各団体の代表者は、お礼を述べるとともに、活動内容および物品の活用方法について紹介しました。

午後からは福祉巡回車の寄贈式が行われ、長谷川会長から阿賀北福祉会・板垣裕事務局長に「ゴールデンキー」が手渡されました。

寄付 誠にありがとうございました

(敬称略)



平成28年12月1日
新潟県ゴルフ連盟
車椅子等
施設備品7施設

平成28年12月2日
(公)日本プロゴルフ協会上信越地区実行委員会
95,945円

平成28年12月5日
カナカン株式会社
カップ入り麺888食

福祉NEWS

2016年11月11日～2016年12月10日

■介護、外国人受入拡大法案成立へ

外国人技能実習生の受け入れ先への監督を強化する技能実習制度適正化法案と、外国人の在留資格に「介護」を新設する出入国管理及び難民認定法(入管法)の改正法案が11月17日、参院法務委員会で賛成多数で可決された。両法案とも今国会で成立し来年から新たな制度が始まる見通し。介護現場で働く外国人の受け入れが広がる見込みだ。

■休眠預金活用案、今国会で成立へ

金融機関に預けられたまま10年以上お金の出し入れがない「休眠預金」を民間の公益活動に使うための「休眠預金活用案」が今国会で成立する見通しだ。毎年500億円程度が、難病の子どもを持つ家族の支援や、児童養護施設に入っている子どもの進学支援をするNPOの活動資金などに充てられる見込み。毎年約1千億円が新たに休眠預金として扱われており、このうち半分程度を払い戻しに対応できるよう残し、残りを公

益活動の支援に回す。

■介護保険、応能負担に高所得者は負担増

介護保険制度の見直し案について社会保障審議会(厚生労働相の諮問機関)の部会で12月9日、大筋で合意した。比較的收入が多い人は、高齢者も現役世代も負担増となる。膨らみ続ける介護費を抑えるため、支払い能力のある人に新たな負担を求めることが柱で、来年度以降に順次実施される。

第64回たすけあい作文コンクール入賞作文決定



「第64回たすけあい作文コンクール」の表彰式が、11月19日新潟ユニゾンプラザで行われました。

今年は38校から164編の作品が寄せられ、入賞6編と佳作20編が選ばれました。

自分自身が支えられた体験を綴った作文で県知事賞に入賞した飯田瞳子さんが「苦手なことが多く、いろいろな人に支えられてきました。今度は自分がいろいろな人をたすける人になりたい。」と受賞者を代表し挨拶しました。

なお、入選作文集を希望される方は県共同募金会(025-281-5532)までご連絡ください。



- ◎**県知事賞**
「感謝の気持ちと助け合いの心」
上越市立城東中学校2年 飯田 瞳子
- ◎**県教育委員会教育長賞**
「人の気持ちを想像してみよう」
加茂市立石川小学校6年 中川 皓介
- ◎**新潟日報社長賞**
「分らない気持ち」
柏崎市立東中学校3年 本間 碧
- ◎**NHK新潟放送局長賞**
「がんばる友達と心の助け合い」
見附市立田井井小学校5年 平井 柚羽
- ◎**県社会福祉協議会長賞**
「お年寄りと一緒に添う社会」
柏崎市立鏡が沖中学校3年 若井 瑞生
- ◎**県共同募金会長賞**
「心と心」
新潟大学教育学部附属新潟小学校6年 古泉 修行

あったか雪募金

雪ほりをしたくても、できない人たちがいます。あなたにも、できることがあります。

「あったか雪募金」始まる

3月31日まで雪国応援募金「あったか雪募金」を行っています。この募金は除雪ボランティアなどの活動支援を目的に実施しています。ご協力をお願いします。

高い関心、直前講座に300人 社会福祉法改正への対応学ぶ

来年度からの社会福祉法改正の本格施行を目前に控え、その対応を学ぶセミナーが12月9日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開催されました。会場は関心の高さを示し、約300人の関係者らで満席。定款変更による経営組織のガバナンス強化や運営の透明化向上などへの取り組みについて考え、真剣に聞き入っていました。

新潟県社会福祉協議会と新潟県社会福祉法人経営者協議会が主催する「社会福祉法人制度改革対応セミナー」は、本年度2回目。最初に全国社会福祉法人経営者協議会の制度・政策委員会委員・宮田裕司さんが「改正法を活かした社会福祉法人の経営」と題して講演しました。評議員会の位置付けと権限が大きく変わることなど、ガバナンス強化の改正点を詳しく解

説。今まで以上に地域における公益的な取り組みを実施する責務や財務規律強化による「見える化」などについて詳しく話しました。

続いて、同協議会事務局の岡田茂樹さんが「改正法施行に向けたチェックポイント」を説明。今後のスケジュールをはじめ、必要の記事事項など定款変更のポイントや評議員選任・解任委員会、社会福祉充実残額について具体的に解説しました。併せて、対応をサポートする同協議会ホームページ上の「会員法人支援ツール」について紹介しました。

終了前には質疑の時間が設けられ、評議員の報酬総額など「定款の記載に関する事項」や「社会福祉充実計画に関すること」など、15人もの参加者が質問しました。



真剣に聞き入る会場を埋めた参加者



丁寧な解説が行われたセミナー

新潟県福祉人材センターが応援します。

新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所2-2-2
4階大研修室

13:00~16:00 [受付時間] 12:30~15:30 出入り自由

会場

求人面談
コーナー

法人・事業所による事業概要等の説明や面接が受けられます。履歴書持参可能です。(コピー不可)

職業相談
コーナー

福祉・介護の就職に関する相談、仕事内容・資格取得の相談ができます。

参加費・
予約不要

一般・学生、経験・資格の有無は問いません。
お気軽にご参加ください。

お問合せ

新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ3階
TEL:025-281-5523

“こんにちは”民生委員・児童委員です ～民生委員制度創設100周年を迎えて～



Vol.1

民生委員・児童委員制度の沿革

民生委員制度は、大正6（1917）年に岡山県で創設された「済世顧問（さいせいこもん）制度」に始まり、平成29（2017）年に制度創設100周年を迎えました。この輝かしい年に、改めてこれまでの100年を振り返るとともに、これからの100年に向けて、地域福祉推進の一躍を担う、民生委員・児童委員の役割や活動の様子をシリーズ（全12回）として、1年間紹介します。

「済世顧問制度」に端を發し全国に

「済世顧問制度」に端を發した民生委員制度は、翌7年に大阪府で創設された「方面委員制度」が発足し、昭和3（1928）年には全国に普及。昭和12年の方面

委員令施行により、方面委員が全国に配置されました。発足当初は、生活困窮者に対する援護活動を中心とした活動を展開していましたが、昭和21年の民生委員令

施行により、「方面委員制度」から「民生委員制度」に移行し、救貧活動だけでなく、地域の福祉増進のために、幅広い活動を行うこととなりました。

昭和23年、児童福祉法施行により「児童委員制度」が創設され、民生委員をもって充てられることになりました。平成6（1994）年1月には、地域において児童・妊産婦の福祉に関する相談・援助活動を行う児童委員への期待が高まり、児童委員活動の活性化を図るため、「主任児童委員制度」が創設されました（厚生省児童家庭局通知により制度化）。



笠井信一氏

大正5（1916）年5月、宮中で開催された地方長官会議の場で、当時の岡山県知事であった笠井信一氏は、大正天皇から「県下の貧民の状況はどうか」との御下問を受けた。

笠井知事は、すぐに岡山県内の貧困者の実情を調査

エピソード1 《済世顧問制度》

し、悲惨な生活状態にある者が県民の1割に達していることが判明した。

この事態の重大さに同知事は、日夜研究を重ね、ドイツのエルバーフェルト市で行われた「救貧委員制度」を参考にして、大正6（1917）年5月、「済世顧問設置規程」を公布、民生委員制度の源と言われる済世顧問制度が生まれた。



林市蔵氏

大正7（1918）年秋の夕暮れ、当時の大阪府知事林市蔵氏は、理髪店の鏡越しに見えた、夕刊を売る40歳くらいの母親と女の子が気にかかり、近くの交番巡査に、この家庭の状況を調べさせた。

その結果、街角で見かけ

エピソード2 《方面委員制度》

た母親は、夫が病に倒れ、4人の子どもを抱え、やっと生計を立てており、子どもたちは、学用品を買えず、学校にも通っていないことがわかった。

これを機に、林知事は、部下に調査を命じ、管内をいくつかの方面（地域）に分け、それぞれの方面に委員を置き、生活状況の調査と救済などの実務に当たった。方面委員制度のはじまりである。

福祉の店 味わい散歩

菓子工房さくら

社会福祉法人阿賀野市社会福祉協議会

(阿賀野市若葉町3-33)

◇9時～16時

◇土・日・祝日休み

◇TEL 0250(93)19500



優しい味わい、フロランタンが大好評

一番人気は、昨年末から発売したフロランタン。クッキー地に、キャラメルでコーティングしたアーモンドスライスを載せて焼いた菓子で、プレーンと、ごま、レモン、オレンジ、男性向きのラム酒味が楽しめる。ほどよい甘さのキャラメル部

分と、ソフトな歯触りの生地との組み合わせが評判を呼んでいる。

ココナッツやココアなど6種類の米粉100%クッキー(スノーボール)も好評だ。卵を使わず、アレルギーにも配慮、固いものがダメなお年寄りも楽しめる。



米粉は地元・阿賀野市産にこだわる。また、小麦粉のクッキーも売れ筋。国産小麦を使い、添加物無し。卵と砂糖、バターのみ

で作っている。ガリックとマスタード味のラスクは、酒のつまみにぴったり。製造は、普段は毎月6人ほどの利用者が、3～4日間集中して行っている。その好評な商品の数々は、2人の担当者が試行錯誤の末に生み出してきた。来月はバレンタインデー。冬季限定の生チョコは発売から5年で、製造に忙しい日々が続く。3個入り150円のお手軽なパッケージ(パレットのみ)も発売している。阿賀野市内の瓢湖の直売所・自然堂と併SHOP西田、新潟市中央区のパレット(ユニゾンプラザ内)でも購入できる。

新潟ユニゾンプラザ 情報

◆開館時間：午前9時～午後10時

◆休館日：年末年始12月29日から1月3日等

※メンテナンス等により不定期に休館させていただく場合がございます。詳しくはホームページをご確認ください。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：http://www.unisonplaza.jp/

◆お問い合わせ

新潟ユニゾンプラザ 施設管理室

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2

TEL：025-281-5511

FAX：025-281-5512

メール：info@unisonplaza.jp

貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール・会議室・研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

主な貸室の紹介 【多目的ホール】



[座席数] 448席

固定席：336席

可動席：112席

[舞台]

間口：14.6m

奥行：8.1m

高さ：7.6m

各種の視聴覚設備を取り揃えたホールです。448席のうち、前側112席はステージの下に収納できます。また、子ども連れの方用に親子室があります。

福祉の現場

伊藤 泉さん

(特別養護老人ホーム垂水の里 管理栄養士)

No.17



とにかく明るく楽しい。関川村で行われる介護予防関連講話は、その人柄を映して大好評。本人も「栄養漫談」と称する。

日ごろは、入所のお年寄りの栄養ケアマネジメントから給食管理に忙しいが、「食べることを大切に思う思いは強い。」

「栄養を取るだけなら、サプリメントがある。でも、旬のもの、伝承食を味わってほしい。ぎりぎりまで、楽しくおいしく食べてほしい」

垂水の里は、介護度3以上で70代後半以上の70人ほどが暮らす。生きる意欲や健康増進につながることを願い、施設も食生活の充実重点を置く。併せて、過ごしてきた日常の延長線上の生活を目指す。「えびす様の日」には、夕食に鮭料理が出されるといったように、年間50回超の「行事食」が組まれている。手打ちそばを食べる会やラー

願いは一つ。楽しくおいしく食べてほしい

メン屋台も登場。10月中旬にはリバーサイドレストランも開店した。食事場所を2階の食堂から1階のロビーに移したただだが、広がる景色が食欲増進につながった。普段は「ミキサー食」のお年寄りが、炭火で焼いた鮎1匹を完食した。「介護福祉士と相談し、コーヒータイム時の様子や、飲み込み状態を十分にチェックした上」での心配りだ。

「選ぶ喜び」も提供する。プリンやお菓子から刺身のバイキングなどなど。お盆に載せた多くのケーキに、「わぁー」と歓声を上げるのは、スイーツ好きの女性と同じという。誕生日には、希望の1品が添えられる。

平成19年から管理栄養士として勤務。その前の8年間は厨房で調理に当たっており、その経験も生かされている。毎月発行の「垂水の里通信つなぐ」で1ページの栄養だよりも担当する。分かりやすい言葉で、免疫力を高める食べ物から、歯周病、非常食など健康をつなぐ内容を発信している。

自宅では、愛猫・もずくに遊んでもらう、癒やされている。

「おしゃれ！」と入荷を待ち望んでいる人たちが大勢います。

【商品説明】

- ☆バック
- ☆バック in バック
- ☆エプロン
- ☆アームカバー
- ☆ティッシュケース
- ☆ナイロンポーチ
- ☆バック



福祉の店パレット

社会福祉法人ほっと妙高
どんぐり工房(福祉作業所)
(妙高市)

【施設紹介】

どんぐり工房では手作りのエプロン、エコバッグ、入園・入学用品など製品作りに取り組んでいます。ハンドメイドならではの利点を生かし、入園用品はオーダーメイドも承っています。お客様との細かいやり取りがサービスにつながっていきます。縫製作業は「難しいんじゃないの?」「ミシン使ったことないからできない?」と思われる。でも初心者、熟練者の方々がお互いに助け合い一つの製品作りに取り組んでいます。

福祉の店パレットでは、入荷するとすぐに売り切れてしまう人気商品です。若い方からも、「セ

問い合わせ

福祉の店パレット新潟店 ☎025-281-5513
県社協 地域福祉課 ☎025-281-5521

ご意見・感想をお寄せください
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、
知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasis@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5520
発行人/関谷 政友
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成29年1月1日発行 (毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱